

平成29年飯田市議会第4回定例会代表質問通告表

平成29年12月6,7日

No.	氏名	項目・要旨
1	湯澤 啓次 (会派のぞみ) 【 120 分 】	<p>1 市長の政治姿勢と予算編成方針について</p> <p>(1) 就任14年目に向けた市長の政治姿勢について</p> <p>① 10年後のリニア時代を見据え、人口減少・高齢化が顕在化する困難な時代に、市長は何を大切に市政経営を進めようとしているか</p> <p>② 総合計画「いいだ未来デザイン2028」を多様な主体とどう共有し進めていくか</p> <p>(2) 平成30年度予算編成の基本方針は</p> <p>2 持続可能な地域自治の推進について</p> <p>(1) 市長の地域自治組織に対する基本的な考えは</p> <p>(2) 地域自治組織の今後のあり方について</p> <p>① 10年が経過した地域自治組織の検証、新たな取り組みは</p> <p>② 地域コミュニティの活性化に対する考えは</p> <p>③ 地域自治を支える財源についての考えは</p> <p>3 リニア中央新幹線に関連する諸課題への取り組みについて</p> <p>(1) 関係自治体、団体等との更なる連携強化をどう図るか</p> <p>① JR東海、県、近隣市町村との更なる関係強化に市長はどう臨むか</p> <p>② リニア駅周辺整備基本設計を進める上で、地元経済界との連携、市民参画に対する市長の考えは</p> <p>(2) 影響を受ける市民にどう寄り添い、切実な要望等にどう応えていくか</p> <p>(3) 諸課題に迅速かつ有効に対応するための態勢拡充は</p> <p>4 リニア・三遠南信時代を見据えた交流・定住人口の拡大に向けた取り組みについて</p> <p>(1) 交流人口増の視点から、これからの観光振興策をどう進めていくか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	湯 澤 啓 次 (会派のぞみ) 【 120 分 】	<ul style="list-style-type: none"> ① 地域連携DMOの創設を視野に、IIDAブランド構築に向けた、市、飯田観光協会、南信州観光公社の連携をどう強化していくか ② 天龍峡と遠山郷の二つの交流拠点を交流人口増につなげる取り組みは (2) 交流・定住人口増につなげる20地区「田舎へ還ろう戦略」に対する市長の本気度は <ul style="list-style-type: none"> ① 各地区との共有、支援策は (3) 交流・定住人口増につなげる中山間地域振興は <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田市の中山間地域の現状と今後の可能性についての市長の考えは ② 10年目を迎える飯田市中山間地域振興計画の検証、評価と今後の考えは 5 若者定住につながる産業振興の取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 市長は若者定住の現状をどう認識、分析し、どうしようと考えているか (2) 若者が帰って来られる産業振興は <ul style="list-style-type: none"> ① 「新たな産業振興の拠点」形成に向け、施設整備後のソフト事業をどう進めていくか ② 戦略的な企業誘致の推進、地域産業の高付加価値化をどう進めていくか ③ 若者定住につながる今後の農業振興策は ④ リニア関連工事による地元経済波及効果を高めるための市の取り組みは 6 子育て環境、健康長寿日本一を目指す取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> (1) 飯田市の子育て環境、健康長寿の延伸に対する市長の現状認識と今後の考えは (2) 飯田市立病院を核とした地域医療の一層の充実は <ul style="list-style-type: none"> ① 地域医療維持のための政策、市民理解、医療スタッフの確保とケアは ② 飯田市立病院の安定経営と、市民から愛され信頼される拠点病院づくりをどう進めるか (3) 人口減少・長寿時代に対応した地域包括ケアの仕組みづくりは

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	湯 澤 啓 次 (会派のぞみ) 【 120 分 】	7 これからの学校教育、社会教育について (1) リニア時代に向けて、どのような人材育成、教育を行いたいの か、市長の思いと教育長の考えは (2) 学校教育について ① 小中連携・一貫教育をどう評価し、今後どのように進めて いくか ② 飯田コミュニティスクールに何を期待し、今後どのように 推進するか ③ ICTを活用した教育課題への対応、成果の見える化と推 進ロードマップは (3) 社会教育について ① 「地域振興の知の拠点」の形成をどのように進めるか ② これからの公民館に期待される役割、現状と課題に対す る市長の認識と、今後の考えは 8 安全安心で環境に配慮した社会への取り組みについて (1) 地域防災の要である消防団員確保と地域防災リーダーの養 成は (2) 空き家対策を進めるための態勢強化、解体費用の補助制度 の創設は (3) 市道、河川の長期的改修整備計画の策定は (4) 「ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例」の検証 と今後の対応は
2	福 沢 清 (会派みらい) 【 120 分 】	1 行財政政策の推進について (1) 「いいだ未来デザイン2028」に沿った年度ごとの中期財政計 画が必要ではないか (2) 「いいだ未来デザイン2028」の検証のため、市の評価をどの 様に行っていくか (3) 「公共施設等総合管理計画」を推進するのに、縮減の目標値 はどうか 2 リニア中央新幹線整備事業について (1) リニア事業に係る庁内体制はどうか

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福 沢 清 (会派みらい) 【 120 分 】	<p>(2) リニア事業を推進するにあたってJR東海とそれぞれの関係地区との協定が必要ではないか</p> <p>(3) まちづくりの観点から、中心市街地とリニア長野県駅とのアクセスをどう整備していくか</p> <p>3 産業振興政策について</p> <p>(1) 飯田市の産業構造の実態把握は</p> <p>(2) 飯田下伊那労働白書の策定は</p> <p>(3) リニア時代の農業、とりわけこの地域特有の「小農(家族の暮らしを中心に地域に根差して営まれる農業のこと)」の振興策は</p> <p>(4) 技能労働者の育成が急がれるが対策は</p> <p>(5) 公契約条例の制定は</p> <p>4 福祉政策の充実について</p> <p>(1) 「飯田市地域福祉計画」における地域福祉コーディネーターの役割は重要と考えるがどうか</p> <p>(2) 認知症の方や高齢者に対する見守り体制の確立は</p> <p>5 まちづくりの推進について</p> <p>(1) 今後の空き家対策は</p> <p>(2) 地域おこし協力隊の状況は</p> <p>(3) 地域経営アドバイザーの活用は</p> <p>(4) 多文化共生、小さな世界都市を目指す取り組みは</p> <p>6 教育環境の整備について</p> <p>(1) 学校施設の老朽化が進んでいるが対策は</p> <p>(2) スポーツ環境とりわけ競技場の整備は</p> <p>(3) 教職員の負担軽減の施策は</p> <p>① 学校給食費を市で徴収することはどうか</p> <p>② 部活動へのかかわりはどうか</p> <p>7 防災について</p> <p>(1) 業務継続計画の策定は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	福 沢 清 (会派みらい) 【 120 分 】	<p>8 南信州広域連合と飯田市の在り方について</p> <p>(1) スポーツ施設、コンベンションセンターの整備構想をどう進めるか</p> <p>(2) 飯田文化会館の建て替えを目指す市長公約との関係は</p>
3	村 松 まり子 (公明党) 【 120 分 】	<p>1 SDGs(持続可能な開発目標)の理念と飯田市の進める市政について</p> <p>(1) SDGs(持続可能な開発目標)の推進についての考えは</p> <p>(2) 「いいだ未来デザイン2028」のスタート元年をどう評価するか</p> <p>(3) 地方創生関連の事業推進の検証は</p> <p>(4) 30年度予算編成の基本方針と重点的な取り組みは何か</p> <p>2 リニア中央新幹線の取り組みについて</p> <p>(1) リニア本体工事関連について</p> <p>① 明かり区間(上郷北条地区・座光寺地区)の進捗状況について</p> <p>② トンネル区間の進捗状況について</p> <p>ア 建設発生土の発生箇所(松川坑口・黒田非常口・土曾川非常口)は</p> <p>イ 建設発生土置き場は</p> <p>③ 環境影響関連について</p> <p>ア 水資源調査の進捗状況は</p> <p>(2) 社会基盤整備関連について</p> <p>① リニア駅周辺整備について、「リニア駅周辺整備基本計画」策定後どのように進めていくのか</p> <p>② JR飯田線乗換新駅設置に向けて今後どのように進めていくか</p> <p>③ 国道153号線飯田北改良及び座光寺上郷道路の進捗状況は</p> <p>④ 座光寺SICの進捗状況は</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	村 松 まり子 (公 明 党) 【 120 分 】	<p>(3) 戦略的地域づくりの関連は</p> <p>① リニア未来都市ブランディング事業の取り組み状況は</p> <p>② 今後の進め方において、「いいだ未来デザイン2028」とリニア推進ロードマップとの関係は</p> <p>3 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくりについて</p> <p>(1) 産業振興と人材育成の拠点整備を着実に推進し、産業振興に寄与させる取り組みは</p> <p>(2) 南信州・飯田産業センター機能強化についての市の考えは</p> <p>(3) 中小・小規模事業者の事業承継の取り組みは</p> <p>(4) 大筋合意した環太平洋連携協定(TPP11)の影響、今後の取り組みについて</p> <p>① この度のTPP11の大筋合意による飯田市への影響はどうか</p> <p>② 飯田市の農業の生産性の向上と競争力の強化の取り組みは</p> <p>③ 農業振興センターを核とし、農地を維持し産業経済として成り立つ姿からバックキャストした農業のあるべき姿を農業振興ビジョンにどう描くか</p> <p>4 包み支え合う「社会的包容力」の構築を目指して</p> <p>(1) 高齢化社会への取り組みは</p> <p>① 本市の高齢者の現状及び2025年までの推移の見通しと、介護従事者の確保の現状及び見通しはどうか</p> <p>② 在宅医療・介護連携の取り組み状況と今後の取り組み方針は</p> <p>(2) 子どもを産み育てやすい環境の充実について</p> <p>① 妊娠・出産・子育てを切れ目なく支援する体制の取り組み状況は</p> <p>② 人口の将来展望を直視するとき、また、地方創生のねらいを考えあわせた時、国の幼児教育・保育料の無償化の動向に先立って第2子以降の保育料の無料化を図るべきと考えるがどうか</p> <p>(3) 医療の充実と心と体の健康づくりについて</p> <p>① 飯田市立病院経営について</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	村 松 まり子 (公 明 党) 【 120 分 】	<p>ア 「地域医療構想」策定に伴う飯田市立病院の対応は</p> <p>イ 今までの「現飯田市立病院中期計画」の進捗状況は</p> <p>ウ 30年度診療報酬改定の影響は</p> <p>② 児童・生徒へのがん教育の取り組み状況は</p> <p>③ 保険者によるレセプト・健診データ等を活用したデータヘルス計画の推進状況は</p> <p>④ ヘルスケアポイントの付与等のインセンティブ措置の導入など、個人の予防・健康づくりの推進の考えは</p> <p>(4) 地域が共生する社会の構築について</p> <p>① 地域の自立性主体性を発揮させるため、パワーアップ交付金の見直しを前向きに検討すべきと考えるがどうか</p> <p>② 人口減少、少子高齢化が進行する中であって、自治会による公園の管理、街路樹の落ち葉清掃などのあり方、家庭ごみの出し方、など先を見通して考えてはどうか</p> <p>5 持続可能な教育環境の整備について</p> <p>(1) 中学校教師の部活動における長時間労働について</p> <p>① 本市の中学校部活動における長時間労働の実態とその管理はどのように行われているか</p> <p>② 昨年6月文部科学省からの「学校現場における業務の適正化に向けて」等の通知に対する市の検討内容と対策は</p> <p>(2) プログラミング教育について</p> <p>① 本市の現状とこれからの取り組みは</p> <p>② 今後のプログラミング教育を進めるうえでの環境の整備は</p> <p>6 ワーク・ライフ・バランスの更なる推進について</p> <p>(1) ワーク・ライフ・バランスの具体的な取り組みは</p> <p>(2) 今後、地域を挙げてワーク・ライフ・バランスをどのように推進していくか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
4	木 下 容 子 (市民パワー) 【 70 分 】	<p>1 リニア中央新幹線開通を見据えたまちづくりについて</p> <p>(1) 伊那谷自治体会議で協議されたリニア駅と伊那谷各地とを結ぶ移動の考え方について</p> <p>① 来訪者の視点、居住者の視点から見た移動方法が示されたが具体的にはどのようなものか。また、今後の方向性は</p> <p>② JR飯田線乗換新駅設置計画について</p> <p>③ 知事から駅周辺にヘリポート設置に対する問いかけがあったと聞かすが、市にその考えはあるか</p> <p>(2) 県が首都圏や中京圏で企業への調査を実施したが、その結果をどう考えるか</p> <p>2 人づくりの教育政策について</p> <p>(1) 小規模特認校指定について</p> <p>① 今回、上村小学校を指定した「小規模特認校」とはどんな制度でどのような目的で行うか</p> <p>② 具体的な取り組み方法は</p> <p>(2) 平和教育の推進について</p> <p>① 平和教育の必要性をどう考えるか</p> <p>② 満蒙開拓平和記念館を活用した平和教育の現状はどうか</p> <p>(3) スマートフォン、携帯電話などが子どもたちにもたらす影響と対策について</p> <p>3 保健・医療・介護・福祉の充実について</p> <p>(1) 「医療介護総合確保推進法」の現状について</p> <p>① 2014年に「医療介護総合確保推進法」が施行され、様々な施策が動き出したが、飯田市における取り組みの現状はどうか</p> <p>② 超高齢化を迎えるこれからの社会では、医療と介護の連携を強化することが重要と考えるがどうか</p> <p>③ 市立病院に設置された地域包括ケア病棟の目的と具体的な役割はどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
5	後 藤 莊 一 (日本共産党) 【 70 分 】	<p>1 市長の政治姿勢と新年度予算編成について</p> <p>(1) 市長の政治姿勢について</p> <p>① 市政運営全般が日本国憲法の本質を生きかしたものに なっているか</p> <p>ア 特に福祉や納税の窓口では、市民の困難に向き 合った対応ができていますか</p> <p>② 地域自治組織の運営をさらに支える考えは</p> <p>ア 自治組織をさらに発展させるため、また役員の活動 をしやすくするため、まちづくり専任の職員を自治 振興センターに配置してはどうか</p> <p>③ 「地域福祉計画」を実行して行くための市長の決意は</p> <p>ア NPOなどの団体等への支援をどう考えるか</p> <p>(2) 平成30年度の予算編成について</p> <p>① 市財政について、今後人口減少に対応した財政にすべ きと考えるがどうか</p> <p>② リニア中央新幹線計画について</p> <p>ア JR東海に対する市民の不安や不満に市としてどう 対応するか</p> <p>イ リニア駅周辺整備にあたって必要なものから整備 する考えは</p> <p>③ 暮らして良かったと実感できる福祉・医療行政について</p> <p>ア 低所得者への日常生活支援策として「灯油代」の 助成をしたらどうか</p> <p>イ 来年度から介護保険事業第7期が始まるが、介護 保険料に対する考えは、また、在宅介護に対する 市としての考えは</p> <p>④ 子どもたちの健全な発達のための学校教育について</p> <p>ア 「ICT」活用は子どもの成長にどう影響するか、ま た、教師の負担は</p> <p>⑤ 地域内で循環する経済の構築について</p> <p>ア 「中小企業振興基本条例(仮称)」を制定し、域内 に多数を占める中小零細企業の振興策を図って はどうか</p>

No.	氏 名	項 目 ・ 要 旨
	後 藤 莊 一 (日 本 共 産 党) 【 70 分 】	イ 「公契約条例」の制定が緊急の課題と捉えているが、状況は ウ 地域農業の現状とこれからの見通しは <ul style="list-style-type: none"> i 中小農家や兼業農家への支援策をどう考えているか ii 遊休農地対策は、景観保全や農業の持つ多面的な機能などをどう働かせていくかが重要であると考えているが、市としての考えは